

大阪歯科大学 兵庫県同窓会報

昭和52年12月15日
No. 31

発行所 大阪歯科大学兵庫県同窓会
神戸市生田区山本通5丁目41
電話(078)351-4181
編集発行人 中森康二



就任挨拶

大阪歯科大学兵庫県同窓会長
阿部 勉

4月1日より任期が変りましたが、不肖私
が再び会長に留任することになりました。

ご信頼頂いたことに対し深く感銘いたしま
すとともに、驚馬に鞭打ち皆様の付託に応え
たいと存じております。相不変のご支援をお
願い申し上げます。

所で、兵庫県同窓会のスローガンは魅力あ
る同窓会、血の通う同窓会であることはご承
知の通りであります。この度もこのスロー
ガンを変える必要は微塵も感じておりませ
ん。会員の親睦を図ることは同窓会のアルフ
ァーでありオメガであります。そして同窓会
の何にもましての至上命令であると思いま
す。その極致が皆んなの血の通う同窓会であ
り、そのためには魅力ある同窓会でなくては
なりません。

同窓愛に理屈はいりません。同じ釜の飯を
食い、肌と肌で触れ合うところに自然に沸き
起こるものであります。こういう意味合で、
親睦の輪を広げるためには誰でも参加し易い
よう、永年の交歓旅行会を発展解消し、会員
大会に切り変えたわけであります。

この度の船上会員大会は大盛況で、交歓旅
行の時の倍からの参加者を得て、どうやら軌
道に乗って来たものと喜んでいる次第であり
ます。

しかし、会員大会はまだ、まだ千人でも2
千人でもやり方では参加可能であります。全
員参加を夢みております。

同窓会は、それこそ、参加する所に意義が
あります。兎も角、会合には挙ってご参加を
切望してやまない次第であります。

目次

就任挨拶	阿部 勉	1
阿部会長を再選		2
会務報告		2
事業報告		2
会則一部変更		3
物故会員氏名		3
第4回会員大会		4
学位受領者		5
新卒業生		5
新入会員		6
昭和51・52年歳入歳出決算書		7~8

阿部会長を再選

昭和51年度 総会 開く

昭和51年度大歯大兵庫県同窓会総会は、昭和52年5月29日（日）午後4時から兵歯会館5階ホールで開かれた。

総会は鹿嶋専務の司会によりはじまり、山下副会長の開会のことばのあと、議長に竹谷副会長を決め（司会者一任）、総会日程に入った。

まず、議事録署名人に西島郁二（西宮市）、藤山岩男（灘区）の両名が指名され、昨年6月以降の物故会員（14名）に対し慰霊黙禱を捧げた。

ついで阿部会長は、本部同窓会ならびに大学の近況について報告し、「昨年は湯郷で大会を開いたが、多数の参加者を得た。本年度は船上パーティを摂津分会でやることになったが、ユニークな企画である。昨年同様ご協力をお願いする…」とのあいさつを述べた。

このあと、5名の学位受領者に対する表彰があり、受領者を代表して竹谷三省氏より謝辞があり各報告のあと議事に移った。

報告事項

会務報告	鹿嶋専務理事
会計報告	溝井常任理事
本部報告	志築常任理事
渉外報告	浜田常任理事

議 事

第1号議案 昭和51年度歳入歳出決算の承認を求める件

第2号議案 昭和52年度事業計画に関する件

第3号議案 昭和52年度歳入歳出予算に関する件

第4号議案 会費賦課、徴収方法に関する件

第5号議案 会則一部変更に関する件

第6号議案 会長選任の件

第7号議案 監事選任の件

以上の7議案が上程された。

第1号議案は提案説明のあと、監査報告が津島監事よりあり、全員一致で承認した。ついで、第2、第3、第4議案を一括上程、提案説明のあと、万場一致で可決決定した。

第5号議案は災害の際の見舞いについての条文追加の案件で、これも万場一致で可決した。ついで、第6、第7号は任期切れとなった会長ならびに監事の選出で、まず、阿部会長を再選と決め、監事には津島、津田両氏の留任を決定した。

議事につづいて協議事項に入り、①本年度会員大会について当番分会の摂津分会より企画の説明と多数参加の呼びかけがあり②会員名簿作製については次期役員に申し送ることを協議決定して、竹谷副会長の閉会のことばで終わった。

会務報告

昭和51年

5月23日（日） 於 兵歯会館
常任理事会（午後1時）
大役員会（午後2時）
昭和50年度 総会（午後3時）

10月14日（木） 於 兵歯会館
常任理事会（午後7時30分）

昭和52年

4月21日（木） 於 兵歯会館
常任理事会（午後7時）
4月28日（水） 於 兵歯会館
常任理事会（午後7時）

事業報告（第3回会員大会）

昭和51年10月23日（土）24（日）

当番分会 播磨分会

場 所 岡山県湯郷温泉「たつみ山荘」

参加人員

会員・家族	258名
来 賓	23名
新 卒	10名
新入会員	5名
事務局	4名
計	300名

会 員 数 1,162名（4月末現在）

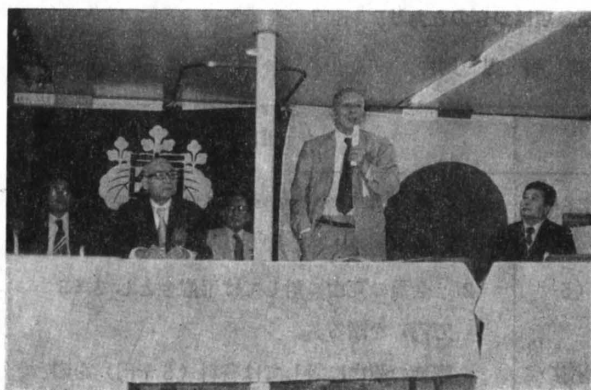
会則一部変更の議案可決された、会則変更条項はつぎのとおり。

(慶弔規則)

新	旧
<p>1. 会員の特別な慶弔のある時、常任理事会において決める。</p> <p>2. 会員の死亡に対しては弔慰金として（5万円）を贈る。 家族の死亡に対しては香料（5千円）を贈る。</p> <p>3. 会員の診療所ならびに住居の全焼、または、全壊に対しては見舞金として（10万円）を贈る。 <u>その他の災害見舞金は常任理事会において決める。</u></p> <p>4. 会員の1カ月以上の傷病に対しては見舞金として（1万円）を贈る。</p>	<p>1. 会員の特別な慶弔のある時、常任理事会において決める。</p> <p>2. 会員の死亡に対しては弔慰金として（5万円）を贈る。 家族の死亡に対しては香料（5千円）を贈る。</p> <p>3. 会員の診療所ならびに住居の全焼、または、全壊に対しては見舞金として（10万円）を贈る。</p> <p>4. 会員の1カ月以上の傷病に対しては見舞金として（1万円）を贈る。</p>

物故会員氏名

氏名	地区名	卒業回数	年令	死亡年月日
川上忠厚	西播	大 11	38才	昭和51年6月1日
西村栄造	加西市	大 14	37才	昭和51年7月4日
中沢真吾	津名郡	専 13	67才	昭和51年8月2日
松岡一	美方郡	医 専	72才	昭和51年8月21日
近藤四郎	加東郡	医 専	79才	昭和51年8月31日
大角四十	明石市	専 11	69才	昭和51年9月5日
井角佐鹿	川西市	専 18	59才	昭和51年10月4日
河合定敏	西播	専 4	79才	昭和51年10月18日
島津稔	川西市	専 18	61才	昭和51年11月24日
吉本五郎	尼崎市	専 8	73才	昭和52年2月2日
糸田敏太郎	三原郡	専 6	74才	昭和52年2月13日
三好敏平	尼崎市	専 16	62才	昭和52年2月25日
矢頭龍太	生田区	専 19	60才	昭和52年4月9日
森安優	津名郡	専 11	68才	昭和52年4月14日
橋本千代吉	宍粟郡	専 23	59才	昭和52年5月25日
奥山世民	川西市	専 7	75才	昭和52年6月23日
細川時之一	葦合区	医 専	74才	昭和52年7月7日
伊藤英一	姫路市	専 2	80才	昭和52年7月17日
今里端	西脇市	専 7	76才	昭和52年9月3日
小島貞三	伊丹市	専 14	65才	昭和52年10月6日
中野寛次	生田区	専 13	67才	昭和52年10月17日



第4回会員大会

「にちなん丸」で洋上パーティ

第4回会員大会は摂津分会の当番で、豪華フェリー「にちなん丸」を借り切り、播磨灘洋上で約600名の来賓、会員、新卒、新入会員、家族らが参加して盛大に開催された。

この日は、曇天と雨模様で晴天にこそ恵まれなかったが、海上は波静かで申し分のない洋上大会となった。

会員大会は、午後3時過ぎエンジンの始動とともに、船室の一部(二等室)を特設会場に仕立てて行なわれた。まず、小坂常任理事の司会により小北副会長が開会のあいさつを述べたあと、阿部会長は「本日はかくも多数の参加をいただき感謝する。また、来賓の方々には多忙の中を曲げてご出席いただき錦上花をそえていただいたことに厚くお礼申し上げます。新卒、新入会員の歓迎をするわけであるが、どうかご多幸で健勝であることを祈りたい。人生に愛情がなければ砂漠のようなものである。愛情にもいろいろあるが、中でも親子の愛情は離れることができないので当然のような気がする。これに比べ、夫婦愛とか友情は離れることができるだけに、深く結びついた愛情には一層美しく感動を覚えるのである。心から許し合える友を持ったとすれば、その人の人生は豊かなものになると思う。これが同窓会士であればなおさらのことである。同窓会としては、こうした友情により固く結ばれた絆が広がって、強い綱となることである。この綱が同窓会団結の基盤となって、より強固な団結を築いてほしいと思う。このように団結した各大学が手を握り合えば、当面する歯科の難題は必ず解決するものと信ずる……」とあいさつした。

ついで、鹿嶋専務より来賓紹介があり、小坂常任理事より新入会員、新卒生の紹介があって来賓祝辞にうつった。

○奥野大歯大同窓会長

「本日は600名を越えていると聞いて一驚している。天気晴朗にして波静かなりの海上の宴である。同窓会は運命共同体であるが、そのやり方としては中々りっぱであり、これこそ大歯の同窓会である。「四門に賓するに四門穆穆(しもんぼくぼく)たり」という言葉がある。東西南北の四つの門を開いて穆穆(ぼくぼく)たり、つまり、なごやかに和氣に満ちている。こうして国民を迎えたわけで、名君の徳が高いわけである。今日とはとくに第39代ジミーカータ米大統領の座右銘を紹介したい。それには、Why not the best (何故全力を尽さないのか)である。常に絶対に全力をつくせということ、これを私に課せられた使命だと思っている。よろしくお願いをしたい……。」

このあと、新入、新卒会員を代表して村井紳君より謝辞があり、つづいて山下摂津分会長より当番分会としてあいさつ、和田西宮分会長より次期当番としてあいさつがあり、祝電披露につづいてたからかに学歌斉唱して、竹谷副会長の閉会のことばで大会の幕を閉じた。

祝宴は、場所をキャフテリアとBデッキに移しにぎやかに開かれ、アトラクション、ラッキーカード抽せん、のど自慢などで洋上パーティを楽しみつつ播磨灘を往復、無事に深江に帰港して散会した。

学 位 受 領 者

(順不同)

氏 名	省 治 世 弘	卒業回数	地区名	受 領 日
竹 西 名 橋 伊	三 利 義 年 進	専 18 大 6 大 18 大 18 大 17	津 名 郡 葺 合 区 姫 路 市 尼 崎 市 西 宮 市	昭和51年6月16日 昭和51年6月16日 昭和51年12月17日 昭和52年3月11日 昭和52年3月11日

以上、大阪歯科大学

新 卒 業 生

井 上 潤 三	673	明石市港町12-25
井 本 吉 昭	661	尼崎市東富松字西フケ61-1
池 田 紀 夫	679-55	兵庫県佐用郡上月町上月590
井 上 博 之	667	養父郡八鹿町大字八鹿字八鹿家元町
梅 谷 安 則	670	姫路市龜山石ヶ坪218
億 川 潔	657	神戸市灘区楠丘町6-7-15
岡 本 吉 正	663	西宮市甲子園3-1-13
柏 木 一 英	673	明石市上の丸2-9-7
関 旗 昌	650	神戸市生田区下山手通3-2-11
片 岡 光 太 郎	662	西宮市門戸岡田町1-7
釜 谷 隆 秋 子	676	高砂市高砂町鍵町584-2
川 合 サ エ 子	663	西宮市学文殿町2-3-2
河 原 忍	669-61	坡崎郡城崎町桃島字桃山沢1292-6
小 寺 康 輔	662	西宮市柏堂町6-28-304
佐 多 利 雄	660	尼崎市竹谷町3-95
繁 田 幸 慶	653	神戸市長田区片山町1-97-25
下 村 和 廣	653	神戸市長田区駒ヶ林町5-15-3
津 島 哲 也	651	神戸市葺合区神仙寺通1-5-5
中 村 重 治	659	芦屋市岩園町10-6
西 山 彰 彰	653	神戸市長田区大橋町5-2-4
花 岡 史 郎	671-12	姫路市網干区新在家476
林 繁 男	651	神戸市葺合区熊内町5-8-20
福 田 二 郎	660	尼崎市西字南開711-6
藤 田 辰 幸	679-13	多可郡加美町山寄上92
松 野 吉 晃	655	神戸市垂水区福田1-2-1
宮 本 佳 子	678-02	赤穂市尾崎さつき町
三 山 隆 史	661	尼崎市南武庫之荘1-28-18
村 井 紳 浩	650	神戸市生田区花隈町109
森 田 浩	658	神戸市東灘区御影山手4-1-17
矢 頭 龍 一	650	神戸市生田区多聞通2-24-4
李 克 平	651	神戸市葺合区旗塚通6-2-5

新 入 会 員 (昭和52年4月1日～昭和52年7月31日)

大 18	川 勝 賢 一	663	西宮市甲子園口2-19-1
大 20	井 口 毅	675-03	印南郡志方町志方1474-3
専 30	横 山 和 典	662	西宮市老松町12 福島ハイッ
大 23	神 田 昇 平	656-17	津名郡北淡町浅野南6-1
大 21	入 船 忠 史	658	神戸市東灘区御影町城の前1515-4
大 19	塩 見 聰	672	姫路市東山464
大 23	都 築 五 百 助	671-02	姫路市御国野町国分寺510
大 20	林 和 夫	661	尼崎市南武庫之荘5-2-32
大 30	大 崎 龍 三	664	伊丹市西台3-9-20
大 22	原 良 典	673-14	加東郡社町社483
大 7	木 許 隆 道	663	西宮市浜甲子園1-15-14
大 24	村 田 輝 美	665	宝塚市逆瀬川2-1-10 (渡部歯科)
大 17	青 木 和 明	675	加古川市野口町北野1229-37
大 22	内 海 健 雄	654	神戸市須磨区月見山本町1-1-9
大 18	上 村 恭 弘	651	神戸市葺合区磯上通8-1-1
大 23	西 本 文 男	656	洲本市炬口1-3-26
大 17	梁 川 国 昭	664	伊丹市稲野町4-21-8-1
大 21	高 橋 慶 一	651	神戸市葺合区琴緒町2-10
大 18	堀 川 建 輔	654	神戸市須磨区平田町1-5
大 21	佐 藤 良 和	661	尼崎市南塚口1-12-17
大 23	寺 内 昇 二	658	神戸市東灘区魚崎中町2-1-24
大 11	釜 田 彰 夫	653	神戸市長田区御屋敷通2-3-1
大 19	竹 内 盛 正	651-11	神戸市北区五葉町1-2-3 西鈴コーポ
大 22	酒 井 正 道	663	西宮市室川町5-26 竹谷ハイッ
大 21	石 川 茂 樹	674	明石市大久保町高丘3-3-90-101

出 張

(山下)

昭和51年 5月22日
 大歯大同窓会25回生慰霊祭 (阿部)
 昭和51年 5月22日
 大歯大兵庫県同窓会播磨分会総会
 (山下、鹿嶋)
 昭和51年 5月30日
 大歯大兵庫県同窓会神戸分会垂水支部総会
 (竹谷)
 昭和51年 6月20日
 大歯大滋賀県同窓会総会 (阿部)
 昭和51年 7月17日
 大歯大和歌山県同窓会総会 (阿部)
 昭和51年 7月30日
 大歯大大阪府同窓会総会 (阿部)
 昭和51年 9月5日
 大歯大奈良県同窓会 (山下)
 昭和51年 12月20日
 大歯大兵庫県同窓会神戸分会垂水支部忘年会
 (阿部)
 昭和52年 1月20日
 大歯大兵庫県同窓会神戸分会生田支部新年会

昭和52年 4月9日
 大歯大大阪府同窓会総会 (阿部)
 昭和52年 4月24日
 大歯大京都府同窓会総会 (阿部)
 昭和52年 5月21日
 大歯専32回全国大会 (阿部)
 昭和52年 6月12日
 大歯大播磨分会総会 (阿部、鹿嶋)
 昭和52年 6月16日
 大歯大兵庫県同窓会神戸分会生田支部総会
 (阿部)
 昭和52年 6月26日
 大歯大滋賀県同窓会総会 (渡部)
 昭和52年 8月21日
 大歯大奈良県同窓会総会 (阿部)
 昭和52年 9月24日
 大歯大岡山県同窓会総会 (鹿嶋)
 昭和52年 11月13日
 大歯大和歌山県同窓会総会 (阿部)
 昭和52年 11月19日
 大歯大2回生総会 (山下)

昭和51年度大阪歯科大学兵庫県同窓会歳入歳出決算書

歳入金 11,226,874円
 歳出金 8,619,738円
 差引剰余金 2,607,136円

収入の部

△印 減

科 目	決 算 額	予 算 額	増 減	摘 要
第一款 会 費	9,301,600	9,240,000	61,600	
第1項 会 費	9,301,600	9,240,000	61,600	
第二款 雑 収 入	664,916	621,000	43,916	
第1項 雑 入	72,516	70,000	2,516	
第2項 寄 付 金	0	1,000	△ 1,000	
第3項 本部手数料	592,400	550,000	42,400	
第三款 繰 越 金	1,260,358	1,260,000	358	
第1項 繰 越 金	1,260,358	1,260,000	358	
合 計	11,226,874	11,121,000	105,874	

支出の部

科 目	決 算 額	予 算 額	増 減	摘 要
第一款 事 務 費	2,041,317	3,200,000	△ 1,158,683	
第1項 事 務 費	1,402,500	1,500,000	△ 97,500	
第2項 旅 費	267,380	500,000	△ 232,620	
第3項 通信印刷費	219,090	900,000	△ 680,910	
第4項 消耗品費	72,755	150,000	△ 77,245	
第5項 雑 費	79,592	150,000	△ 70,408	
第二款 会 議 費	985,745	1,700,000	△ 714,255	
第1項 会 議 費	985,745	1,700,000	△ 714,255	
第三款 事 業 費	5,592,676	5,710,000	△ 117,324	
第1項 学 術 費	560,000	560,000	0	
第2項 広報宣伝費	118,950	150,000	△ 31,050	
第3項 福祉厚生費	1,432,490	2,000,000	△ 567,510	
第4項 表彰慶弔費	1,363,200	1,000,000	363,200	災害見舞金 510,000 傷病見舞金 60,000 } 含
第5項 渉 外 費	2,118,036	2,000,000	118,036	
第四款 予 備 費	0	511,000	△ 511,000	
第1項 予 備 費	0	511,000	△ 511,000	
合 計	8,619,738	11,121,000	△ 2,501,262	

昭和52年度大阪歯科大学兵庫県同窓会歳入歳出予算書

歳入金 12,639,000円
歳出金 12,639,000円

収入の部

△印 減

科 目	本年度予算	前年度予算	増 減	摘 要
第一款 会 費	9,408,000	9,240,000	168,000	月700円×12ヵ月×1,120名
第1項 会 費	9,408,000	9,240,000	168,000	
第二款 雑 収 入	631,000	621,000	10,000	
第1項 雑 入	70,000	70,000		預金利子
第2項 寄 付 金	1,000	1,000		
第3項 本部手数料	560,000	550,000	10,000	5,000円×1,120名×10%
第三款 繰 越 金	2,600,000	1,260,000	1,340,000	
第1項 繰 越 金	2,600,000	1,260,000	1,340,000	
合 計	12,639,000	11,121,000	1,518,000	

支出の部

科 目	本年度予算	前年度予算	増 減	摘 要
第一款 事 務 費	4,300,000	3,200,000	1,100,000	
第1項 事 務 費	2,000,000	1,500,000	500,000	
第2項 旅 費	500,000	500,000		
第3項 通信印刷費	1,500,000	900,000	600,000	名簿印刷
第4項 消耗品費	150,000	150,000		事務用品
第5項 雑 費	150,000	150,000		
第二款 会 議 費	1,700,000	1,700,000		
第1項 会 議 費	1,700,000	1,700,000		
第三款 事 業 費	5,840,000	5,710,000	130,000	
第1項 学 術 費	640,000	560,000	80,000	
第2項 広報宣伝費	200,000	150,000	50,000	会報発行
第3項 福祉厚生費	2,000,000	2,000,000		会員大会
第4項 表彰慶弔費	1,000,000	1,000,000		
第5項 渉 外 費	2,000,000	2,000,000		
第四款 予 備 費	799,000	511,000	288,000	
第1項 予 備 費	799,000	511,000	288,000	
合 計	12,639,000	11,121,000	1,518,000	

自然増は予備費へ繰入れる